

しあわせ

自分らしく生きる



2013(平成25)年1月発行

伊予市教育委員会
愛媛県人権教育協議会伊予市支部

ある話合いの場で、問題発言を指摘された人が「私は血液型が◎型のため、短絡的なところがあって、本意の伝わらない・・・」というように釈明をしました。この問題発言を血液型によるものだという言い訳を皆さんはどう思いますか。



この血液型による性格判断を現代になって生まれた迷信ととらえることもできそうです。性格判断については、血液型の他にも干支や生年月日等によるものもあるそうです。いずれにしてもこれらによって、人格や性格が本当に分かるのでしょうか。

自分らしく生きる

因習や迷信といったものは、はっきりした根拠がない場合が多いようです。しかし、これらにとらわれるのは「昔からの言い伝えに従っていけばまちがいない」「うまくおさまる」という意識があるからかもしれません。



〈清め塩〉について考えてみましょう。

葬儀から戻った時、玄関先で体に塩を振りかけること(清め塩)があります。皆さんはこのことをどう思いますか。参考のためにこのことについての意見の一部を紹介します。

- 死は縁起でもないこととして、塩で排除しようとするのはいかなものだろうか。
- 死者を穢^{けが}れとして清め塩を使うことに抵抗がある。
- 昔から親がしているのでやはり使いたい。
- 死は怖いので遠ざけるためにも形として塩を撒きたい。
- 身内の者が亡くなると心が乱れるので、自分自身のけじめとして撒きたい。

このように様々な考えがあります。清め塩を使いたい人は使えばいいし、いやな人は使わなければいいのであって、どちらが良くてどちらが悪いと決め付けるのはいかなものなのでしょうか。

因習や迷信を信じる、信じないも個人の自由ですが、それによって行動が制限されたり、排除や差別の意識を他の人に押し付けたりするとしたら、考え直す必要があります。

今まで「普通」や「当たり前」と思っていたことについて「本当にそれが正しいことだろうか」と感じる事が大切です。そして、**自分らしく生きていくことができる**住みよい社会を築くためには、同じ一人の人間としてお互いの考え方や生き方を理解し、認め合うことが求められています。



正しい認識のもと、自分の意志で行動することが大切です。

日常生活に残る因習や迷信

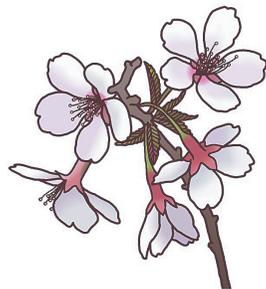
人は、どんな状況にあっても誇りをもって生きています。

自分らしく生きることは、すべての人の様々な生き方を認めることにつながります。しかし、私たちはまだまだ同質志向や横並び意識があり、昔からの習慣やしきたりに従っているところもあるのではないのでしょうか。その一つに、「女性は土俵にあげられない」といったことや「北枕で寝てはいけない」などという古くから言い伝えられてきたこと（**因習や俗諺、迷信**）があり、現在様々な問題が指摘されていることは皆さんご存知のとおりです。

もちろん、なかには「ツバメが高く飛ぶと晴れ、低く飛ぶと雨になる」といった、昔の人の生活経験や智慧のつまったものもあります。

いずれにしても、世間がそうだからということで、このことによって、自分の生活が左右されるとしたら皆さんはどう考えますか。

同和対策審議会答申（昭和40年）において、次のように指摘されています。

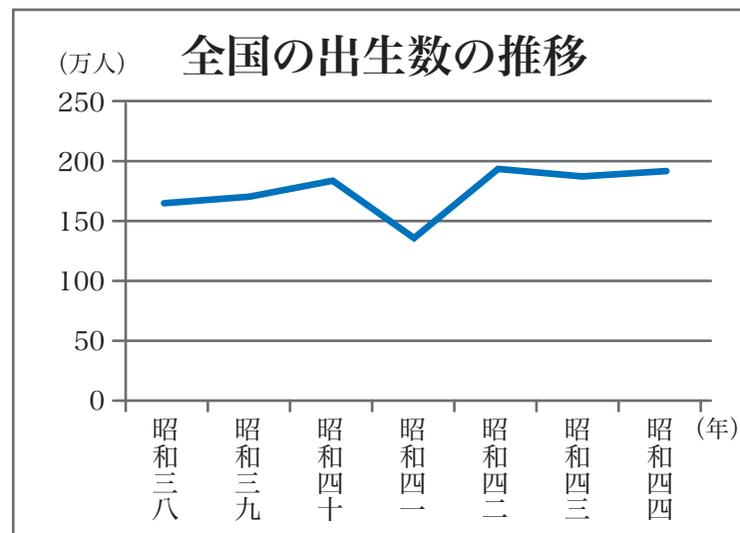


精神、文化の分野でも昔ながらの迷信、非合理的な偏見、前近代的な意識などが強く残っており、特異の精神風土と民族的性格を形成している。

丙午（ひのえうま）

「丙」は火の兄、「午」は正南の火という意味があることから、丙午の年は「火災などの厄災が多い」などの迷信が生まれました。その後、次第にその年に生まれた人の性質は激しいものになるといった迷信に転化していったようです。また江戸時代、井原西鶴の「好色五人女」で有名になった八百屋お七が丙午の生まれだといわれたことから、「この年生まれの女は気性が激しく、夫を尻に敷き、夫の命を縮める」という迷信が信じられるようになってきたそうです。「丙午の年に災いあり」「丙午の娘を貰うと火災にあう」という言い伝えも残っています。

ちなみに、丙午年であった1906（明治39）年、1966（昭和41）年は、ともに出生数が減っています。これは、この迷信が大きな原因の一つであると考えられています。



(人口動態統計より)

六 曜

六曜は中国から伝わり、江戸時代の後期から広く使われはじめ、今でも私たちの生活のなかに残っています。

先勝 — 友引 — 先負 — 仏滅 — 大安 — 赤口の順で繰り返されており、それぞれに固有の吉凶、運勢が定められています。今でも「慶事は仏滅の日を避け、大安の日を実施し、葬儀は友引の日を避ける」などと言われることがあります。



この六曜は1872（明治5）年の太政官布告（明治時代初期の法令）によって禁止されたといわれていますが、今日もカレンダー等に残っていることがあります。

血液型による性格判断

血液型によって、その人の性格を判断しようとすることがあります。「□型はきちょうめんな性格」「△型はいいかげんな性格」といったように、血液型によってその人の性格や人格が分かるというものです。